

Forest通信 令和4年 6

No.400

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



高尾山のいきものたち

ハンミョウ

(オサムシ科)



光沢のあるカラフルな昆虫。体長は2cm程で、赤色や青色に白い斑があり、頭は緑色をしている。光の加減によって輝きや色合いが変わる。平地や低山の林道や裸地、河原など開けた場所に生息し、成虫は4～10月に見られる。真夏の炎天下でも活動する。

肉食で、地面を走っては止まり、周囲を見回し、左右に張り出した複眼で獲物を探し、見つけると鋭い大あごで捕まえる。人が近づくと飛んで少し先に行き、先導しているようなので「道教え」と呼ばれている。光沢の派手な模様をしているのは、強い日差しを反射するためや天敵の鳥に対しての防御のためなどといわれている。昆虫の色や模様は環境に適応して驚くように変化する。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



NO.67

キリ

(桐・キリ科)

中国から伝来した落葉広葉樹で、北海道南部以南全国に植栽されています。

名前の由来は諸説ありますが、切るとすぐに芽を出して生長するため、「きる」が「きり」になったと言われています。初夏に特徴的な淡紫色の花を咲かせる花木としても知られています。

材質は、日本の木材中最も軽く、肌目はやや粗く、淡褐色で、強度は劣りますが、加工は容易で、割れ、狂いが少なく、タンス、下駄、楽器（琴）、箱材や、材の熱伝導率が極めて小さいため火に強く金庫の内箱材として用いられています。火事の多かった江戸時代は、軽くて火に強い桐のタンスは重宝されていました。

桐は成長が早いので、昔は、女の子が生まれると桐を植え、お嫁入りするときに桐タンスを作ったと言われています。

また、古代中国では聖王を象徴する鳳凰が「桐の木に宿り竹の実を食う」とされ神聖視されました。

(皿)



葉、実



材面

成木樹皮

公募イベント 森林カレッジⅠ

5月21日(土)に当センター主催の公募イベント「森林カレッジⅠ」が開催されました。このイベントは一年を通して年4回開催されます。初回は元日本大学教授の桜井尚武(さくらいしょうぶ)先生の「森林(もり)の見方」の講義と高尾山頂までの森林観察となります。

午前中の講義では「森林の多面的機能・地球環境と森林」など、グローバルな視点からの専門的な講義でしたが参加者の皆さんの集中している様子から、好奇心と強い熱意が感じられました。

午後からは高尾山の稲荷山歩道を使用しての森林観察です。当日はあいにくの雨模様でしたが、怪我の功名か入山者も比較的少なかったので頂上までの道のりはスムーズに移動できました。高尾山は、関東山地の東南、都心から約50キロメートルに位置しています。交通の便にも恵まれ、日帰りでもゆっくりと山歩きが楽しめる国定公園で、平成19年に富士山と並んでミシュランの三ツ星に指定された素晴らしい山です。

午後2時過ぎには全員無事に山頂へ登頂することができました。ここで閉会式となりましたが、閉会後に希望者を募って山頂直下のブナ林を見に行くこととなりました。ブナ林といってもブナ・イヌブナが入り交じって数本程度の規模ですが、高尾山の標高では珍しい光景です。また帰りのケーブルカー駅の付近でブナの実を観察することもできました。

今後残すところ3回が開催されますが、全回無事に開催されることを祈って下山となりました。(磯)



山頂にて

出前森林教室

八王子市立みなみ野小学校

八王子市郊外にあるみなみ野小学校の3年生105人は、校庭にある樹木を一人一本ずつ選び、その樹木を一年間にわたって観察し記録するという学習を行っています。当センターでは、毎年職員を派遣し、この学習のお手伝いをしています。

5月9日(月)には3年生全員が体育館に集まり、センターの職員から、どのようなところに注目して樹木を観察するとよいか、観察対象の24種類の樹木はそれぞれどのような特徴があるか、などの説明を受けました。この後、児童の皆さんは実際に校庭の樹木を見ながら24樹種の中から観察を続ける1種類を選びました。

5月25日(水)にはセンター職員が再び学校を訪れ、5つの班に分かれて、今度は選ばれた樹木ごとに、葉や幹、花などを見たり触ったりしてもらいながら、それぞれの特徴を説明しました。児童からは木や植物に関する素朴な質問も出され、説明する職員が答えに窮する場面もありました。

図鑑などによる知識だけではなく、身近にある実際の樹木を1年間にわたってじっくりと観察し続けるというみなみ野小学校のこの取り組みは非常に素晴らしいものだと思います。児童の皆さん、頑張ってください！(枝)



選んだ樹木に触れたりしながらの解説

編集後記

5月号掲載の「俺の高尾」はNo.65ではなくNo.66でした。お詫びとともに訂正をいたします。

高尾では、イナモリソウが咲き始めています。



イナモリソウ

Forest通信 NO400

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

